

令和7年11月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,023	241,290	241,600	241,893	△ 310	△ 603
2 調定水量	m ³	588,846	4,836,936	4,866,800	4,953,294	△ 29,864	△ 116,358
3 調定料金(税抜)	円	181,405,967	1,486,824,322	1,490,000,000	1,509,625,200	△ 3,175,678	△ 22,800,878
4 口振加入件数	件	24,508	196,983	-	198,125	-	△ 1,142

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,443	155,536	155,630	154,199	△ 94	1,337
6 調定水量	m ³	383,095	3,070,348	3,098,510	3,099,405	△ 28,162	△ 29,057
7 調定料金(税抜)	円	80,247,160	642,877,665	653,210,000	593,461,776	△ 10,332,335	49,415,889

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	71,145	-	72,532	△ 1,387
9 給水件数	件	29,846	-	30,000	△ 154
10 開栓処理件数	件	152	1,715	1,853	△ 138
11 閉栓処理件数	件	218	1,776	1,848	△ 72
12 給水工事設計審査	件	33	267	266	1
13 給水工事竣工検査	件	22	287	373	△ 86
14 経年メーター交換	件	543	3,498	3,627	△ 129
15 メーター口径変更	件	1	26	15	11
16 督促状発送数	件	1,404	11,401	11,256	145
17 月末停止件数	件	136	-	119	17

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	24	168	175	△ 7
19 排水設備工事完了検査	件	17	132	176	△ 44

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	213,079,426円	86.97%	216,673,643円	86.95%	0.02%
21 過年度分	3,203,093円	98.38%	3,056,945円	98.50%	△0.12%
22 計	216,282,519円	-	219,730,588円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	109,865,222円	84.46%	109,680,264円	83.20%	1.26%
24 過年度分	925,658円	99.09%	728,990円	99.21%	△0.12%
25 計	110,790,880円	-	110,409,254円	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	2,785,130円	85.47%	3,065,400円	89.74%	△4.27%
27 過年度分	1,212,200円	10.65%	1,134,300円	19.79%	△9.14%
28 計	3,997,330円	-	4,199,700円	-	-

特記事項

1. 11月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は199,547千円（税込）で、前月期に比べて645千円の減、対前年同月比では4,338千円の減となっています。営業収益は199,834千円、営業外収益は事務手数料や補償金など5,925千円、特別利益として84千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など95,333千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金や水道加入金として1,630千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など18,353千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は88,272千円（税込）で、前月期に比べて1,097千円の増、対前年同月比では621千円の減となっています。営業収益は88,280千円、営業外収益は、負担金や雑収益として1,676千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など89,977千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者負担金や県補助金として、15,705千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など62,093千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道技術管理者資格取得講習会実務研修会の開催

11月25日（火）に令和7年度水道技術管理者資格取得講習会実務研修会の開講式が登米庁舎で開催されました。

この研修会は、水道技術管理者の資格を取得するために必要な学科講習と実務研修を受講することで、水道技術管理者の資格要件を満たすもので、本市職員が講師となり、12月15日（月）までの15日間にわたり資格取得の実務研修を行います。この日、研修生として民間企業から2名受入れ、オリエンテーションを行い、水道事業経営や水道施設に関することなどの講義を行いました。



【開講式の様子】



【東和総合支所の様子】



【中田総合支所の様子】

令和7年11月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課						下水道施設課						
経営分析の状況						経営分析の状況						
◎ 配水量の状況						◎ 処理水量の状況						
項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比 較 (E)	項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比 較 (D)	備考	
					対計画 (B)-(C) 対前年度 (B)-(D)							
総取水量	771,527	6,587,488	6,367,630	6,626,906	219,858	△ 39,418	公共下水道(追・中田・登米・南方)	232,667	1,919,540	2,012,085	△92,545	1処理場
総配水量	722,497	6,112,965	5,923,390	6,157,436	189,575	△ 44,471	特定環境保全公共下水道	51,897	417,877	426,126	△8,249	3処理場
1 有効水量	642,894	5,152,583	5,152,780	5,266,359	△ 197	△ 113,776	米谷・錦織処理区	10,155	81,606	92,370	△10,764	
(1) 有収水量	593,291	4,872,617	4,902,800	4,988,850	△ 30,183	△ 116,233	豊里処理区	29,913	238,417	242,149	△3,732	
(2) 無収水量	49,603	279,966	249,980	277,509	29,986	2,457	津山処理区	11,829	97,854	91,607	6,247	
2 無効水量	79,603	960,382	770,610	891,077	189,772	69,305	流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,819	91,669	94,406	△2,737	
(1) 漏水量	79,259	957,512	765,600	888,043	191,912	69,469	農業集落排水	106,412	886,509	903,555	△17,047	24処理場
(2) その他無効水量	344	2,870	5,010	3,034	△ 2,140	△ 164	追地区	8,247	66,121	67,268	△1,148	
3 有収率	82.12%	79.71%	82.77%	81.02%	△ 3.06%	△ 1.31%	東和地区	2,541	21,182	22,050	△869	

※ 当月期の最大配水量は、11月12日（水）に記録した【24,982m³】です。

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施工中 (B)		竣 工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率	(単位：件・千円)		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額					
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%			
浄水施設整備事業	5	2,295,608	6	2,257,076	2	8,169	30,363	98.7%			
配給水施設整備事業	33	1,214,395	22	456,510	4	70,048	687,837	43.4%			

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

1 下り松ポンプ場沈砂池清掃

11月12日と20日に下り松ポンプ場の2系統ある沈砂池を各系統ごとに清掃を実施しました。この作業は下り松ポンプ場内の着水井や沈砂池を年1回、水と一緒に溜まった泥も抜いて清掃するものです。例年、配水量の減る秋から冬の時期に実施するため、この時期の実施となりました。

沈砂池は北上川からくみ上げ、ポンプ場に流入する原水の水位変動を安定させる働きのほかに濁質を沈める効果もあります。沈砂池の効果を低下しないように定期的に清掃する必要があります。



【沈砂池清掃状況】

◎ 漏水調査結果（累計）

漏水	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
配水管	52	95.610	
付属施設	0	0.000	
給水装置	82	65.670	
計	134	161.280	

【漏水調査結果：11月】

- 推定漏水量 13.030m³/h
- 推定効果額 約2,950千円
- 推定効果額算定
 - ・R6年度給水原価 314.48円
 - ・9月推定漏水量 35.190m³/h
 - ・13.030m³/h×24h×30日×314.48円

2 許可作物（下り松取水塔）の点検を実施



【点検状況】

11月10日（月）、許可作物（下り松取水塔）の維持管理状況について、国土交通省北上川下流河川事務所の職員4名と上下水道部職員2名、浄水施設等管理運転業務受託者1名で、点検を実施しました。

点検の結果、異常は確認されませんでした。この点検は、年1回行っており、今後も適切に維持管理を行ってまいります。

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比 較 (D)	備考
公共下水道(追・中田・登米・南方)	232,667	1,919,540	2,012,085	△92,545	1処理場
特定環境保全公共下水道	51,897	417,877	426,126	△8,249	3処理場
米谷・錦織処理区	10,155	81,606	92,370	△10,764	
豊里処理区	29,913	238,417	242,149	△3,732	
津山処理区	11,829	97,854	91,607	6,247	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,819	91,669	94,406	△2,737	
農業集落排水	106,412	886,509	903,555	△17,047	24処理場
追地区	8,247	66,121	67,268	△1,148	
東和地区	2,541	21,182	22,050	△869	
中田地区	29,174	250,002	258,415	△8,413	
豊里地区	1,907	15,583	15,885	△302	
米山地区	45,185	375,688	385,472	△9,784	
南方地区	19,359	157,933	154,465	3,468	R7.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	44,233	358,714	356,129	2,585	2,204基
合 計	446,028	3,674,308	3,792,301	△117,993	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

経営分析の状況

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施工中 (B)		竣 工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	8	617,369	4	407,319	0	9,348	200,702	67.5%
処理施設整備事業	90	702,312	16	348,070	21	48,520	305,722	56.5%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

※ポンプ施設整備事業については、令和7年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 公共浄化槽等整備推進事業の受付が終了

11月28日（金）に公共浄化槽等整備推進事業の受付が終了しました。この事業は、市町村合併後に浄化槽の整備手法を市設置型に統一し、これまで年間80基程度の整備を進めて参りましたが、今後の人口減少や施設更新、ランニングコストなども含め検討を重ねた結果、令和8年度より個人設置型へ整備手法を変更することとなりました。今後は、設置から10年が経過した、現在は市で管理を行っている浄化槽の個人への譲与手続きを進めて行く予定です。



【動力制御盤の状況】

○浄化槽整備事業受付状況

(11月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	54	—

※令和7年度の申請受付は、11月末で終了しました。